

令和5年度 施策評価シート

◆施策の概要		担当者職・氏名		主事 齋藤 千歳	
SDGs17ゴール	2 飢餓をゼロに	市長公約		②「やりたいことにチャレンジしている人が多いまち」	
総合計画（戦略）体系	施策大綱（基本目標）	創造性あふれる産業が息づくまち			
	施策	畜産の振興			
主担当課	農業振興課	関係する課等			
施策概要	畜産農家の育成子畜の導入を支援。 公共牧場の機能強化を進め、牧場放牧の利用を支援し、労働負担の軽減を図る。				

◆まちづくりの目標・KPI

	No.	名称	単位	R7目標値	R4実績値	達成率
まちづくりの目標・KPI	1	肉用牛飼養頭数（年間）	頭	1,400	883	63.1%
	2	秋田牛ブランド販売頭数（年間）	頭	410	220	53.7%
	3	牧場放牧頭数（年間）	頭	100	46	46.0%
	4					#DIV/0!
	5					#DIV/0!
	平均達成率					54.2%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	まちづくりの目標・KPIの達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	市場の子牛価格が低調であり、牛の導入及び自家保留の頭数増加につながっているものの、売却時の価格も低調となることと飼料・資機材等の価格高騰による飼養コスト増加により、依然として畜産農家には厳しい状態が続いている。牧場の放牧頭数が減少傾向にあるが、乾草の需要が高まっており販売が伸びている。草地整備事業により放牧地が整備され放牧頭数の増加が期待される。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度（市の考え）	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度（主管課の考え方）	飼養頭数の維持向上の観点から、導入に対する補助事業の重要度は高い。 また、牧場の利用により畜産農家の負担軽減となることから、牧場機能の維持向上が市の畜産業に与える影響は大きい。						

◆総合判定

判定	コスト・手法	拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度	拡大		現状維持	○	縮小	
1次評価（部課長等）	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域であり、目標値を達成するた施策を推進する。草地整備後の放牧頭数の回復、乾草の販売の伸びに期待する。					
外部評価（総合政策審議会等）							
2次評価（市長・副市長）	II	コストは現状維持とするが、成果は今後伸びる見込みがあるものであるためIIの評価とする。					

- ◆ まちづくりの目標・KPIの達成度：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。※別表「市民意識調査結果表」より転記。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和5年度 施策評価シート

◆施策の概要		担当者職・氏名		参事兼林務係長 佐藤 勉	
SDGs17ゴール	1 5 陸の豊かさを守ろう	市長公約	①「目標を持ち、やりたいことがある人が多いまち」		
総合計画（戦略）体系	施策大綱（基本目標）	創造性あふれる産業が息づくまち			
	施策	豊かな森林資源の整備と活用促進			
主担当課	農林整備課	関係する課等			
施策概要	収益性の高い林業経営、適正な施業管理のための施業の集約化、育成、生産の推進。森林の維持・管理費用の軽減を図り、林業事業者が活動できる林道等の整備。林業従事者の若返り、新規就業のための研修支援。鳥獣被害は有害鳥獣捕獲を試み、生活圏への侵入を抑制。捕獲物はジビエ活用を検討。				

◆まちづくりの目標・KPI

	No.	名称	単位	R7目標値	R4実績値	達成率
まちづくりの目標・KPI	1	私有林森林経営計画策定率	%	65	65	100.0%
	2	新規林業就業者数	人	10	7	70.0%
	3					#DIV/0!
	4					#DIV/0!
	5					#DIV/0!
	平均達成率					85.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	まちづくりの目標・KPIの達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	私有林森林経営計画策定率は林業経営体の実績で目標値を達成したことから集約化が促進されているが、仙北市実施事業については林業経営体の経営計画へ編入を検討している。林業を取り巻く情勢として、林業従事者の高齢化、後継者不足が課題となっている。林業経営体の負担軽減のため、継続して路網等の環境整備を行う維持管理が必要となる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度（市の考え）	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度（主管課の考え方）	森林が伐期を向かえつつある中で森林資源の多面的機能を持続させるには、森林施業にかかる所有者の費用負担の低減に向けた支援事業の創出が重要。他に、林業経営体が活動できる、環境の整備を継続する必要がある。鳥獣被害に対しては、IoT機器を導入し、隊員の負担軽減を検討したい。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
1次評価（部課長等）	V	私有林における適正な管理のために施業箇所の集約化等及び林業事業体が活動できる林道等の整備、林業従事者の若返りや新規就業のための研修支援による事業継続において必要不可欠であることから現状維持とする。						
外部評価（総合政策審議会等）								
2次評価（市長・副市長）	Ⅲ	施策としては林道整備に重きを置いているが、現状林道整備に関してはコストをかけて整備するものではない。同じ施策の中に有害鳥獣駆除事業費も組み込まれており、そこに関しては力を入れて取り組んでいかなければならない。						

- ◆ まちづくりの目標・KPIの達成度：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。※別表「市民意識調査結果表」より転記。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和5年度 施策評価シート

◆施策の概要		担当者職・氏名		交流デザイン課長 田口聡美	
SDGs17ゴール	8 働きがいも経済成長も	市長公約		②「やりたいことにチャレンジしている人が多いまち」	
総合計画（戦略）体系	施策大綱(基本目標)	創造性あふれる産業が息づくまち			
	施策	インバウンド等の交流人口の拡大と特色ある観光			
主担当課	交流デザイン課	関係する課等		観光課	
施策概要	景観価値を最大に活かした農村交流、国際交流共に新たな交流の形の検討。（一社）農山村体験推進協議会や地域事業者と協力し仙北市固有の歴史、文化、風習を最大限に活かした滞在を提案していく。				

◆まちづくりの目標・KPI

	No.	名称	単位	R7目標値	R4実績値	達成率
まちづくりの目標・KPI	1	教育旅行受入人数	人	30,000	18,768	62.6%
	2	訪日外国人宿泊者数	人	40,000	2,819	7.0%
	3	旅行者満足度	%	60.0	58.8	98.0%
	4					#DIV/0!
	5					#DIV/0!
	平均達成率					55.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	まちづくりの目標・KPIの達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	コロナ禍の影響を多大に受けており、KPIが未達成となっている。仙北市のタイ、台湾現地事務所が情報収集を行ったことで仙北市には訪問しているものの、宿泊地としては岩手県を選ばれていることが判明した。今後は現地事務所からの情報を元にしっかりと誘客施策を講じ訪問を滞在までつなげていく。教育旅行に関してもSDGs関連事業のPRを積極的に行うことで更に誘客につながるのそういった観点での事業展開が必要である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度（市の考え）	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度（主管課の考え方）	インバウンド観光客や国内教育旅行等などが戻ってきていることは明確であり、いかにして仙北市に訪問する方を増やすか、また満足度を上げていくか考えて行かなければ激化している地域間競争に遅れをとる可能性があると考え。また、市民意識調査での重要度が「下」になっていることから、観光客だけではなく、市民や受け入れ事業者への活動の周知および効果検証も行う。						

◆総合判定

判定	コスト・手法	拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度	拡大		現状維持	○	縮小	
1次評価（部課長等）	V	青少年交流、台湾や国内教育旅行誘致、国際交流協会、農山村体験推進協議会事業などの多くの市民と一体となって行う事業を積極的にすすめていくことで、本施策の市民理解を深めていくことが重要。					
外部評価（総合政策審議会等）							
2次評価（市長・副市長）	I	市民の重要度が下となっている。市民に対するPRにも力を入れること。					

◆ まちづくりの目標・KPIの達成度：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。※別表「市民意識調査結果表」より転記。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和5年度 施策評価シート

◆施策の概要			担当者職・氏名	参事・山信田 大作
SDGs17ゴール	3	すべての人に健康と福祉を	市長公約	⑤「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち」
総合計画（戦略）体系	施策大綱（基本目標）		優しさにあふれ健やかに暮らせるまち	
	施策		医療体制の充実	
主担当課	保健課		関係する課等	医療管理課（病院事業）
施策概要	医学生や研修医を受入れる際、宿泊先としてアパートを借上げ、将来的な医師確保の裾野を広げている。また、市内医療機関への勤務を希望する学生に修学資金を貸与し、医療従事者の確保を図っている。			

◆まちづくりの目標・K P I

	No.	名称	単位	R7目標値	R4実績値	達成率
まちづくりの目標・K P I	1	医師数	人	24	22	91.7%
	2	新規医師数（修学資金を貸与した者のうち）	人	6	3	50.0%
	3	目標値：令和4年度まで修学資金の貸与を受け、令和7年度に義務年限のある者。 実績値：目標値のうち、令和4年度に市内医療機関への勤務実績のある者。				#DIV/0!
	4	新規看護師数（修学資金を貸与した者のうち）	人	6	3	50.0%
	5	目標値：令和4年度まで修学資金の貸与を受け、令和7年度に義務年限のある者。 実績値：目標値のうち、令和4年度に義務年限履行中の者。				#DIV/0!
	平均達成率					63.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	まちづくりの目標・K P Iの達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	医学生の受入れは順調に進んでいるが、成果が表れるまで時間を要する。また、田沢湖病院での研修医の受入れ体制が整わず、近年は医学生のための受入れとなっている。修学資金については、看護師枠は順調であるが、医師枠については課題も多く、貸与者本人と連絡を密にするとともに、大学医局との連携を強化している。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度（市の考え）	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度（主管課の考え方）	地域の実情に応じた医療提供体制を確保する上で、病院という建物があっても、医療スタッフがいないれば患者の治療はできない。また、市内民間医療機関の多くは跡継ぎが不在となっており、住民への医療提供や地域包括ケアの観点からも医療スタッフを確保する施策として極めて重要と考えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
1次評価（部課長等）	V	市民の重要度は高くなっているが、満足度は伴っていない。R4施策評価シートよりR7目標値が修正されていることもあり、今後も事業の見直しが必要と思われる。						
外部評価（総合政策審議会等）								
2次評価（市長・副市長）	II	コストは現状維持とするが、市民からの重要度が高く現在仙北市では地域医療分野に注視しているおり成果の向上を目指す。						

- ◆ まちづくりの目標・K P Iの達成度：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。※別表「市民意識調査結果表」より転記。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和5年度 施策評価シート

◆施策の概要		担当者職・氏名		中央公民館長 高倉 正人	
SDGs17ゴール	4 質の高い教育をみんなに	市長公約		③「日々の暮らしで生きがいを感じている人が多いまち」	
総合計画（戦略）体系	施策大綱(基本目標)	個性豊かな心を育むまち			
	施策	地域文化の振興と伝統文化の継承			
主担当課	各公民館	関係する課等			
施策概要	市民の芸術文化活動への参加意欲を高め、生涯学習成果を発表・展示する場として実行委員会を組織し、仙北市文化祭を田沢湖・角館・西木の3地区で開催する。				

◆まちづくりの目標・K P I

	No.	名称	単位	R7目標値	R4実績値	達成率
まちづくりの目標・K P I	1	仙北市文化祭の開催数	地区	3	1	33.3%
	2	仙北市文化祭の来場者数	人	1,600	400	25.0%
	3					#DIV/0!
	4					#DIV/0!
	5					#DIV/0!
	平均達成率					29.2%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	まちづくりの目標・K P Iの達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	コロナの影響でR2・3年度は3地区で中止。R4年度は3年ぶりに角館地区のみ開催し、日頃の芸術文化活動や学習成果を発表することができた。仙北市文化祭は各地区の実行委員会事業であるが、年々関係者の高齢化や人材不足、市からの補助金削減などにより、単独開催は難しくなっている。市民意識調査の重要度を上げるためには、利用者以外に公民館事業の認知度、重要度をあらためて喚起する仕組みづくりが必要である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	仙北市文化祭は、芸術文化活動を行う団体・個人にとっては創作目標となるため、補助的支援の役割や意義は大きいと考える。しかしながら、課題解決にあたっては、補助金事業の見直しや市制20周年に向けた合同開催、仙北市総合美術展への集約化などを検討する。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
1次評価 (部課長等)	V	文化祭は、芸術文化活動の成果発表や鑑賞など生きがい活動の目標にもなっていて、開催の意義・役割は大きく市民満足度も高いことから維持すべき。一方、実行組織の高齢化・人材不足・資金面での不安は増していて、今後は3地区合同開催や他イベントとの集約といった安定的で充実度の高い開催方法について検討が必要と思われる。						
外部評価 (総合政策審議会等)								
2次評価 (市長・副市長)	I	予算をR4レベルに戻し、事業PR等にも力を入れること。						

- ◆ まちづくりの目標・K P Iの達成度：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。※別表「市民意識調査結果表」より転記。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和5年度 施策評価シート

◆施策の概要

担当者職・氏名			交流デザイン課長 田口聡美
SDGs17ゴール	8 働きがいも経済成長も	市長公約	②「やりたいことにチャレンジしている人が多いまち」
総合計画（戦略）体系	施策大綱（基本目標）	基本目標1 産業振興による仕事づくり	
	施策	インバウンド等の交流人口拡大と特色ある観光	
主担当課	交流デザイン課	関係する課等	観光課
施策概要	景観価値を最大に活かした農村交流、国際交流共に新たな交流の形の検討。（一社）農山村体験推進協議会や地域事業者と協力し仙北市固有の歴史、文化、風習を最大限に活かした滞在を提案していく。		

◆まちづくりの目標・KPI

No.	名称	単位	R7目標値	R4実績値	達成率
1	教育旅行受け入人数	人	30,000	18,768	62.6%
2	訪日外国人宿泊者数	人	40,000	2,819	7.0%
3	旅行者満足度	%	60.0	58.8	98.0%
4					#DIV/0!
5					#DIV/0!
平均達成率					55.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	まちづくりの目標・KPIの達成状況	達成（上）	ほぼ達成（中）	未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上	中	下	○
成果・課題等	コロナ禍の影響を多大に受けており、KPIが未達成となっている。仙北市のタイ、台湾現地事務所が情報収集を行ったことで仙北市には訪問しているものの、宿泊地としては岩手県を選ばれていることが判明した。今後は現地事務所からの情報を元にしっかりと誘客施策を講じ訪問を滞在までつなげていく。教育旅行に関してもSDGs関連事業のPRを積極的に行うことで更に誘客につながるのそういった観点での事業展開が必要である。				

◆重要度判定

判定	施策の重要度（市の考え）	上	中	下
	市民意識調査での重要度	上	中	下
施策の重要度（主管課の考え方）	インバウンド観光客や国内教育旅行等などが戻ってきていることは明確であり、いかにして仙北市に訪問する方を増やすか、また満足度を上げていくか考えて行かなければ激化している地域間競争に遅れをとる可能性があると考え。また、市民意識調査での重要度が「下」になっていることから、観光客だけではなく、市民や受け入れ事業者への活動の周知および効果検証も行う。			

◆総合判定

判定	コスト・手法	拡大	現状維持	○	縮小
	重要度	拡大	現状維持	○	縮小
1次評価（部課長等）	V	青少年交流、台湾や国内教育旅行誘致、国際交流協会、農山村体験推進協議会事業などの多くの市民と一体となって行う事業を積極的にすすめていくことが重要。			
外部評価（総合政策審議会等）					
2次評価（市長・副市長）	II	コストは現状維持しながら、市民向けのPRにも力を入れること。			

- ◆ まちづくりの目標・KPIの達成度：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。※別表「市民意識調査結果表」より転記。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。